



校長室だより

校長 菅原 定志

子どもたちの活躍の場

早いもので9月も後半になりました。朝晩もめっきり涼しくなり、日中との気温差が大きくなっています。衣服を調節するなどして、体調管理に努めていきたいものです。

さて、これからが秋本番。秋は「実り」の季節です。田んぼの稲穂も頭を垂れ、稲刈りが始まったところもあるようです。学校でも、学習面、運動面ともこれまで学んできた成果を発表する時期となりました。しかし、新型コロナウイルスの影響で、これまでの秋とは異なる秋を今年も迎えることとなりました。

そのような中、今週末には気仙沼・本吉地区新人大会が予定どおり開催されます。今回の地区新人大会については、何とかして有観客で実施できないか、地区中体連は模索してきました。新型コロナの感染も一端収まったように見えてましたが、7月下旬から8月下旬にかけて、全国的に新型コロナの第5波となり、宮城県も緊急事態宣言地域となりました。現在は、まん延防止等重点措置地域となっていますが、これまで地区中体連が準備してきた地区新人大会について、開催すべきかどうかから悩み、地区中体連と地区校長会では何度も話し合いを行ってきました。結果的には、子どもたちのこれまでの練習成果を発揮する場、活躍する場を確保したいという強い思いから、感染症対策をとりながら地区新人大会を実施することとしました。

そして、地区中体連がもう一つ悩んだことに、観客をどうするのかということでした。「子どもたちの活躍する姿を保護者にも見せたい」「しかし、多くの保護者で会場が密になることはなんとか防ぎたい」。地区中体連も地区校長会も悩み、この点についても多くの時間をかけて議論しました。最終的には、保護者の応援については「登録選手1名につき、保護者または家族に限り1名までとする」ということにしました。この大会は、本校の子どもたちだけでなくこれまで頑張ってきた気仙沼・本吉地区の子どもたちが活躍する場です。子どもたちが、安全にそして安心して大会を進められるように、教職員、保護者の皆様が一つとなってこの大会を支えていきたいと考えています。保護者の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。また、応援は事前登録の保護者のみとなり、応援の際は健康チェックカードの提出が義務となりますので、重ねてよろしくお願いたします。

昨日のホームページでも紹介しましたが、東北大学災害科学国際研究所の佐藤翔輔准教授をお招きして、本校の探究的な防災学習も始まりました。その成果は12月の授業参観の際にご覧いただきたいと思っています。それにつけても、新型コロナの第6波、第7波が来ないことを祈るだけです。

このような状況下でも子どもたちには「笑顔」で学校生活をおくってもらいたいと思っています。子どもたちにとって、大切な一日だから・・・。